

2012
1 月号
第431号

広報
かざまうら
KAZAMAURA



発行 風間浦村役場
編集 総務課
HPアドレス <http://www.kazamura.jp/>
印刷所 青森コロニー印刷



迎春

百人一首大会

▶ 今月の内容 ◀

- 2～3 年頭にあたってのご挨拶
- 4～6 わだい
- 7 風間浦村の介護保険
- 8 税務だより
- 9 年金だより
- 10～13 お知らせ
- 14 社協だより
- 15 健康だより
- 16 戸籍の窓

▶ 村民憲章 ◀

- 1、わたくしたちは、きまりを守り、親切で明るい村をつくります。
- 1、わたくしたちは、仕事に喜びをもち、豊かな村をつくります。
- 1、わたくしたちは、青少年に希望を老人に生きがいを、そして心のあたたかい村をつくります。
- 1、わたくしたちは、自然を愛し、花と緑の美しい村をつくります。
- 1、わたくしたちは、常に知識を求め、スポーツに親しみ、楽しい村をつくります。

ごあいさつ

風間浦村長 飯田 浩一



飛躍の年に!

新年明けましておめでとうございませす。
村民の皆様とともに新年を迎えられます
ことを心よりお喜び申し上げます。

昨年は、村民皆様のご支援により、村長に就任させていただきました。ただき、お礼申し上げます。また、日頃より村政に対し、ご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年3月11日には、「東日本大震災」が発生し、東北地方を中心に多大なる災害をもたらし、多くの方が犠牲となりました。犠牲となられた皆様にお悔やみ申し上げますとともに、今なお、避難生活をされている方々にお見舞い申し上げます。

この度の原子力災害は、我が国そして、青森県のエネルギー政策の根幹をなす原子力発電に対する安全神話を覆す結果となり、収束の見込が未だ不透明な状況であります。近隣に原子力施設を抱える風

間浦村にとって様々な点で影響を与えるものであり、今後の情勢を注視していかなければなりません。

今年も、厳しい財政状況にはありますが、風間浦村に住む全ての村民が、幸せを実感できるような施策を心がけていきたいと思っております。

私は、政治施策を具現化していくために、次のような重点施策を考えております。

地域経済・産業の活性化

村の基幹産業である漁業は、磯焼け現象、従事者の高齢化・次代の担い手不足などで疲弊しております。今後は、沿岸の藻場造成事業を行い、資源回復に努め、誰でも収入の得られる漁業を目指し取り組んでまいります。

また、高齢化が進み手が加えられなくなった山林、畑を活性化させていくよう模索していきたいと考えます。

高齢者の働く場の確保

高齢化社会を迎える今、全ての高齢者の皆さんが生きがいを持ち、健康で安らかに暮らすことのできる地域社会を築くことが重要な課題となります。

今後は、対象となる高齢者の方々の意見を拝聴し、ニーズ調査を進め「シルバー人材センター」の設置に向け、取り組みを進めてまいります。

福祉・教育の充実

保健・医療・福祉施策の充実のため村民・行政が一体となり、生活習慣病の予防をはじめとする健康づくり、子育て支援、介護サービスなどに積極的に取り組みながら、医療費抑制の観点から総合福祉センターを「核」として、保健・医療・福祉に携わる機関相互の連携のもと、介護予防、生活支援、地域支援事業など



七転八起

新年の

『努力したものが報われる村』を築く！

に力を注ぎ、健康でかつ生きがいの持てる生活を送って頂きたいと考えます。

また、誰もが安心して子供を産み、育てられる社会の実現とともに子どもからお年寄りまで安心して暮らせる村づくりのために、相談窓口の充実に積極的に取り組みます。

子どもたちの「確かな学力」「豊かな心」「健康な体」を培うため、地域の実態に応じた教育環境の基盤作りが必要であり、次代を担う子供たちを育てるために最善を尽くします。

村民参加の徹底

村づくりの主役は常に村民皆様であります。現在、易国間地区では自治会づくりのために発起人会を発足させ、着々と準備を進めております。

今後は、村民皆様の声に耳を傾け、自主的な地域活動を支援し、活発化させ、地域コミュニティに力を注いでまいります。

地域防災体制の強化

この度の災害では、停電、津波警報により「避難勧告」を発令し、村民皆様にも避難所生活というご不便をおかけいたしました。消防団、日本赤十字奉仕団、ボランティア有志の方々のご協力により、スムーズな避難所運営ができました。

また、被害を受けた地域への救援物資のお願いにも多くの方々のご協力を得まして被災地へ届けさせていただきました。村民皆様の温かいお気持ちに改めてお礼申し上げます。

今後とも災害に強い村づくりを目指し、村民皆様、消防団、日赤奉仕団、行政等の連携を深めるため、昨年11月には易国間、桑畑地区を中心とした「防災訓練」を実施いたしました。災害時の役割を改めて確認するとともに、防災計画の見直しを含め、村民の安全を守るために防災体制の強化・充実に努めていく所存であります。

今年には新島襄先生とのご縁から、同志社との交流も20年目を迎えるにあたり、記念式典の開催を予定しております。村民皆様にもご参加いただき、これまで以上に絆が深まるよう期待いたします。

ふるさと風間浦村の盛り上がりをご一緒に生み出していく。次世代にまで引き継ぐには、目の前の困難を乗り越えて、新たな発展の土台作りが大切であると考えております。

将来にわたり、元氣な風間浦村であり続けるため、村民皆様とともに考え、知恵を出し合い「努力したものが報われる村」を築いていきたいと考えています。

災害がなく、健康で安心して暮らせる一年でありますように心から願うとともに、村民皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。



受章を喜ぶ家政勝政氏

元村議会議員家政勝政氏が、去る11月3日地方自治功労者として、叙勲の旭日双光章を受章しました。

家政氏は、昭和58年に村議会議員に初当選し、以来平成19年まで連続6期24年の永きにわたり村議会議員として行政に参画し、地域住民の福祉向上と地場産業の振興、教育環境の整備等に対する多大な功績が認められたものです。

家政勝政氏
旭日双光章
 (地方自治功労)
受章



自衛官募集相談員の木村さん(右)と阿部さん(右から2人目)

平成23年11月17日、風間浦村役場において、自衛隊青森地方協力本部増田友晴本部長、むつ地域事務所荒井辰人所長の立会いの下、木村喜志雄さんと阿部利行さんの2人に村長より自衛官募集相談員の委嘱状が交付されました。委嘱の任期は2カ年です。

**自衛官募集相談員に
 委嘱状を交付**



避難する住民の様子(桑畑地区)

11月20日(日)風間浦中学校及び桑畑温泉湯んぶで、平成23年度風間浦村防災訓練を実施しました。

当日は、総合的な防災体制の充実強化と村民の防災意識高揚を図ることを目的に、防災関係機関と地域住民が一体となり大規模地震発生後の大津波警報を想定して5団体、約250人の方が参加して、避難訓練、情報伝達、消火訓練、炊出し訓練等を実施しました。

今回は、易国間と桑畑地区に限定して行われましたが、今後は今回の反省点を踏まえて村内全域を対象とした訓練を実施する予定です。

風間浦村防災訓練を実施



- ①避難名簿を作成する様子(桑畑地区)
- ②対策本部の移設の様子
- ③AEDの操作体験の様子
- ④住宅用火災報知器について
- ⑤煙体験の様子
- ⑥消防車両の展示
- ⑦救急車両の展示

＝試合結果＝

1回戦 14－0
対大間ドルフィンズA

2回戦 6－0
対佐井イーグルス

決勝戦 13－2
対大間ドルフィンズB



優勝を喜ぶ風間浦フェニックスの選手と関係者

風間浦フェニックス優勝

平成23年11月12日(土)、13日(日)むつ市しもきた克雪ドームにおいて「第5回下北半島ドーム大会」が開催され、北通・東通地区の9チームが参加し熱戦を繰り上げました。本年度、最後の大会に望んだ風間浦フェニックスが初優勝を飾り、1年間を締めくくりました。試合結果については次のとおりです。

保育所でもちつき



上手にまるめてお雑煮のおもちになりました



子どもたち全員で餅をつきあげました

12月16日、風間浦保育所でもちつき会が行われました。当日は「べったんこ、べったんこ」と元気を掛け声を掛けながら、全員でもちをつきあげました。子どもたちがついた餅は、お雑煮等に調理されてみんなで食べました。

白熱した対戦を展開
蛇浦小学校百人一首大会



白熱した対戦を展開した児童たち

12月9日、蛇浦小学校で百人一首大会が行われました。この大会は、楽しみながら日本の伝統的な遊びに親しむことがねらいで、児童たちは休み時間などを利用してながら練習したそうです。当日は、6つのグループに分かれ対戦して、そこで札を多く取った6人が名人戦へ進むという仕組みで行われました。1枚差で名人戦への出場を逃し、悔し涙を流す児童もあり、白熱した対戦が展開された結果、6年駒嶺茜さんが第12代名人を見事に勝ち取りました。

第34回ナイターバレーボール大会参加チーム募集

申込書類等 風間浦村中央公民館
申 込 先 教育委員会 能 渡 春 実 Tel 35-2210
締 切 期 限 平成24年1月20日(金)午後4時まで

大間原子力発電所における安全強化対策について

電源開発(株)では、福島第一原子力発電所で発生した事故を重く受け止め、現在、建設中の大間原子力発電所においても安全確保に万全を期すため、国の緊急安全対策指示などを踏まえ必要な対策を進めることにしております。

また、国から指示を受けた安全性に関する総合評価（ストレステスト）についても実施することになっております。

この度、安全強化対策等について概要がまとまり、北通り三ヶ町村の住民の皆さま方へ個別に訪問し内容説明を行いました。

その結果をご報告致します。

【大間原子力発電所に係る北通り三ヶ町村個別訪問の実施結果について】

平成23年8月29日から平成23年9月16日まで実施された大間原子力発電所に係る北通り三ヶ町村個別訪問の結果について概要をお知らせします。

訪問戸数は4,084戸、在宅数は3,027戸であり、在宅率は74.1%という結果でした。

安全強化対策の実施や原子力防災体制の確立を前提としながら、福島第一原子力発電所の事故が収束していない現状や震災発生時の国道等通行規制の経験から、原子力発電一般や当社大間計画及び安全強化対策に一定の理解を示しながらも不安を抱いている声がありました。一方、地域経済の活性化や地元雇用の観点から早期の工事再開を望む声がありました。

訪問先での具体的な意見としては、「この地区で地震津波と原子力事故が同時におきた場合、どうやって避難すればよいのか。」、「どんなに安全強化対策を講じても100%の安全はない。」、「安全対策をしっかりと行なった上で工事を再開してほしい。」、「地元業者の仕事がなく困っている。早く工事を再開してほしい。」などの意見がありました。

【北通り三ヶ町村個別訪問における主な意見について】

早期工事再開に関するご意見

- ・安全対策をしっかりと行なった上で工事を再開してほしい。
- ・心配はあるけれど、ここまで出来てしまっているならば、しっかりとやってもらうしかない。
- ・ここまで進んでいるのだからやらなければならない。
- ・雇用確保等の地域経済の維持には必要。安全対策を行なった上で建設を続けてほしい。
- ・原発は必要。原発がないとエネルギーが不足する。
- ・大間は原発を受け入れたのだから安全なものを作ってほしい。

地元経済・雇用に関するご意見

- ・地元業者の仕事がなく困っている。早く工事を再開してほしい。
- ・地元雇用や町財政のためにも、安全対策を行なった上で建設を続けてほしい。
- ・工事休止となって経営が厳しい。一日も早く工事を再開してもらいたい。
- ・早く工事を再開し、現場で働けるようにしてほしい。

避難経路に関するご意見

- ・災害時の避難道路がないので心配。どこに逃げればいいのか。
- ・国道は津波、地震によるがけ崩れ、出水等で通行できなくなるため事故の時に逃げられるか不安だ。
- ・避難道路を運転開始までに整備するべき。

安全性に関するご意見

- ・福島の事故を受けて不安を感じる。事故が起きれば、大間も福島と同じようになるのではないか。
- ・津波対策なんて、どこまでやっても絶対安全なんて言えるものではない。
- ・人間のやることに100%ということはない。
- ・大間原子力発電所の建設には反対である。建設を中止してほしい。

その他

- ・大間は地震・津波などの災害が少ないところだと思っている。
- ・事故が起きた場合に、子どもや孫の世代に影響があるのではないかと心配である。
- ・水産物への風評被害が心配である。
- ・説明会のような場ではなかなか発言できないので、こうした各戸訪問は良いこと。

〔資料提供〕

電源開発(株)大間現地本部大間原子力建設所 ☎37-2125

風間浦村の介護保険

平成23年12月号では介護保険サービスを受けるため必要なことについて掲載しましたので、今回は風間浦村の介護給付費の現状についてお知らせいたします。

介護保険サービスは基本的に第1号被保険者（65歳以上）が対象となり、風間浦村の介護保険サービス利用者は高齢化率の上昇に伴って年々増加しております。これは、風間浦村だけでなく、全国的に抱えている問題となりますが、その中でも風間浦村は要介護認定率、介護保険給付率が青森県内において上位に位置します。

介護保険給付費の財源は保険料（40歳以上）で5割、公費（国・県・村）で5割を賄わなければなりません。介護給付費が大きくなるとどうしても介護保険料を値上げしなければならなくなりますので、自分でできることは自分で行うよう心がけましょう。そうすることによって介護保険サービスを受け過ぎることがなくなり、ご本人の自立を維持するとともに介護状態の悪化を防ぐことにもなります。その上で必要な介護保険サービスを利用するようご協力をお願いいたします。

健康でいるためには、普段からの予防が大事です。手足の運動や散歩、家事の手伝いなどできる事を継続し、元気なお年寄りが多い村を目指しましょう。それが介護保険だけでなく、医療保険の給付費抑制にもつながります。

○平成12年度からの介護保険総給付額等

年度	介護保険給付額	第1号被保険者数	認定者数	受給者数
平成12年度	110,050,095円	768人	93人	80人
平成13年度	146,731,627円	780人	119人	92人
平成14年度	180,348,677円	803人	132人	115人
平成15年度	182,404,522円	814人	144人	116人
平成16年度	206,572,595円	829人	163人	116人
平成17年度	213,752,001円	832人	162人	125人
平成18年度	215,911,459円	827人	160人	121人
平成19年度	228,087,270円	840人	165人	128人
平成20年度	241,177,300円	834人	180人	120人
平成21年度	321,760,795円	834人	171人	137人
平成22年度	292,521,180円	831人	170人	129人

2月号では、村で開催している介護予防教室等をご紹介します。

1月10日は110番の日です。

110番通報制度は、昭和23年にスタートして以来、国民と警察を結ぶホットラインとして定着し、事件・事故の早期解決に大きく貢献しています。

緊急性のない相談や要望、いたずらや間違い電話は緊急電話の受信に支障を来しますのでご注意ください。

県内で110番通報すると、青森市にある警察本部につながりますので、あわてず落ちついて、はっきりとした声で正確に情報を伝えるようにしましょう。

110番のための6つのポイント

- 1. 何があったのか？
- 2. どこで？
- 3. いつ？
- 4. 犯人は？
- 5. どんな状況か？
- 6. あなたの住所・名前、電話番号は？



と順番にお聞きしますので、落ち着いてはっきり話してください。

務より 税だより

平成23年度 風間浦村納税貯蓄組合連合会 会計研修会

12月8日、下風呂公民館において風間浦村納税貯蓄組合連合会会計研修会が開催されました。

研修会に先立ち、納税作品表彰が行われ、受賞者一人ひとりに賞状が贈られました。

続いて議題に移り、10月末までの納税貯蓄組合収納状況について事務局より説明されたあと、下北地域県民局県税部の小笠原雅哉次長を講師に招き、「財政規律と納税」温故知新」と題して講演会が行われました。



講演する県税部
小笠原雅哉次長

〈受賞者〉

〔納税作品〕

■青森県納税貯蓄組合連合会長表彰
作文の部

- 銀賞 吉田 希海(下小6年)
- 佳作 小山 楓花(下小6年)
- 奨励賞 坂 良衣(下小5年)

■風間浦村納税貯蓄組合連合会長表彰
作文の部

習字の部

- 奨励賞 坂 良衣(下小5年)
- 〃 小山 楓花(下小6年)
- 〃 長谷 悠平(下小6年)
- 〃 吉田 希海(下小6年)
- 〃 柴垣 胡桃(蛇小1年)
- 〃 蛸島 咲(蛇小2年)
- 〃 木下 朋花(蛇小3年)
- 〃 五十洲ひかり(蛇小4年)
- 〃 坂 良衣(下小5年)
- 〃 浜辺 茉緒(易小6年)



賞状を手に受賞を喜ぶ児童

不動産の公売

村税の滞納処分として差し押さえた不動産を競争入札で売却します。

■日 時：平成24年1月26日 午後1時30分

■場 所：風間浦村中央公民館 研修室

■公売参加の条件

- ・希望者は下記の注意事項を確認のうえ、入札開始10分前までに直接会場へお越しください。
- ・どなたでも参加できますが、入札に際し公売保証金、印鑑、納税証明書(村外の方)などが必要です。また、代理で参加する場合は委任状が必要となります。ただし、滞納者及び公売場所への入場、入札等を制限されている方は公売に参加することはできません。
- ・詳しくは、青森県市町村総合事務組合滞納整理課、風間浦村役場税務会計課、役場前掲示板にてご確認ください。
- ・不動産の表示は、登記簿上の表示です。
- ・事情により、公売を中止することがあります。

不動産の概要			
公告番号	所 在	地 目	土地面積
公告第13号	風間浦村大字蛇浦字古釜谷188番地55	山 林	94㎡
	風間浦村大字蛇浦字古釜谷142番地37	山 林	975㎡
	風間浦村大字蛇浦字潜石17番地1	山 林	3,576㎡

※入札者は、必ず現地で物件を確認してください。

■問合せ先

青森県市町村総合事務組合 滞納整理課 ☎017-723-1331
 風間浦村役場 税務会計課 課税徴収グループ ☎0175-35-2111

1月は、村県民税及び国民健康保険税の納期限です。

忘れずに納めましょう!!

 明るい村 明るい社会 あなたの税が生きている 風間浦村税務会計課

年金 だより

特別障害給付金制度について

障害基礎年金を受給できないいわゆる無年金障害者と呼ばれる人を対象に、特別障害給付金を支給する制度があります。ただし、この特別障害給付金は、障害基礎年金や障害厚生年金などの公的年金の障害給付を受給できる人は支給対象とはなりません。

特別障害給付金の支給対象者

特別障害給付金の支給対象となるのは、次のいずれかに該当する人です。

- ・平成3年3月以前に国民年金の任意加入の対象となっていた学生。
この国民年金の任意加入の対象となっていた学生とは、大学（大学院）、短大、高等学校および高等専門学校または専修学校・一部の各種学校（昭和61年4月から平成3年3月までの期間に限られる）のうち、昼間部に在学していた学生です。
 - ・昭和61年3月以前に国民年金の任意加入の対象となっていた人（厚生年金保険や共済組合などの加入者の被扶養配偶者）で、国民年金に任意加入していなかった期間中に初診日（初めて医師の診察を受けた日）があり、現時点で1級または2級の障害等級に該当する65歳到達前の人に限られます。
この任意加入の対象となっていた人とは、厚生年金保険や共済組合などの加入者の被扶養配偶者のほか、以下の人をいいます。
 - ・厚生年金保険や共済組合などから老齢給付を受けているか受給資格期間を満たしている人の配偶者
 - ・厚生年金保険や共済組合などから障害年金を受けている人の配偶者
 - ・国会議員の配偶者や地方議会議員の配偶者（ただし、昭和37年12月以降に限る）
- この特別障害給付金を受けるためには、厚生労働大臣の認定が必要です。

特別障害給付金の支給額

特別障害給付金の支給額は、障害基礎年金の障害等級に基づいて、障害等級の1級に該当する場合と2級に該当する場合は異なります。

まず、障害等級の1級に該当する場合には月額5万円が支給され、また、障害等級の2級に該当する場合には月額4万円が支給されます。

これらの支給額は法律で定められた支給額で、実際には、平成16年の物価指数を基準にして毎年度物価の変動に応じて改定されます。平成23年度の場合には、1級の障害基礎年金の障害の程度に該当する場合は月額49,650円、2級の障害基礎年金の障害の程度に該当する場合は月額39,720円となっています。

特別障害給付金の支給の制限

特別障害給付金では、支給の制限が行われる場合があります。

- 1、本人の所得が一定額以上であるときは、支給額の全部または半分の額が支給停止されます。この扱いは、20歳前障害による障害基礎年金の所得制限と同じです。
- 2、老齢年金、遺族年金、労災補償などを受給している場合には、その受給額分を差し引いた額が支給されます。一方、この老齢年金等の額が、特別障害給付金の支給額を上回る場合には、特別障害給付金は支給されません。
- 3、経過的福祉手当を受給している場合には、特別障害給付金が支給されると経過的福祉手当は支給停止となります。

支給期間・支払方法

特別障害給付金の支給期間は、請求した月の翌月分から支給され、支給すべき事由が消滅した日の属する月で終わります。

また、特別障害給付金の支払方法は、障害基礎年金と同様に年6回の偶数月となっています。

請求手続の注意事項

特別障害給付金は、原則として、65歳に達する日の前日までに請求しなければなりません。

特別障害給付金の請求の窓口は、住所地の市区役所・町村役場となっています。

日本年金機構では、必要な書類などがすべてそろわなくても請求書の受付を行うので、まずは請求を行うことを勧めています。請求に必要な書類のうち所定の様式となっているものは、市区役所・町村役場、年金事務所にあります。

平成24年経済センサス－活動調査を実施します

- 平成24年2月に実施する経済センサス－活動調査は、すべての企業・事業所を対象に、全産業分野の経済活動を同一時点で網羅的に把握する我が国唯一の調査です。
- 調査の結果は、国の各種行政施策をはじめ、地域の産業振興や商店街の活性化などの地域行政のための基礎資料として利活用されます。
- 支社等のない事業所等は、調査員が直接伺い、調査票を配布します。また、支社等を有する企業には、国、都道府県及び市が民間事業者を通じて本社等に調査票を郵送します。
- 調査票は、平成24年1月末日までにお届けしますので、2月1日以降に提出してください。
- 調査の趣旨・必要性をご理解いただき、調査票の提出にご協力をお願いします。
総務省・経済産業省・青森県・風間浦村



お知らせ

～information～

平成24年度風間浦村奨学金貸与者募集

風間浦村奨学金貸付制度は、村内の居住する者の子弟で、高等学校並びに同等以上の学校に在学するものに対し、奨学資金を貸与し修学の便宜を図り、教育の振興に寄与するとともに人材育成することを目的として行なっております。

平成24年度につきましては、次のとおりの募集をおこないますので、奨学金貸与を希望する方は教育委員会事務局までお申し込み下さい。

■対象者

- ・品行方正、学業成績優秀かつ身体強健で、学資の支弁が困難であると認められるもの。
- ・高等学校又はそれ以上の学校に在学する本村の在住者である者。

■貸付金額

- ・大学の医学部及び歯学部 月額 12万円以内
- ・上記以外の大学の学部 月額 5万円以内
- ・短期大学 月額 5万円以内
- ・高等専門学校3学年まで 月額 3万円以内
- ・同上 4学年から 月額 5万円以内
- ・高等学校(自宅通学) 月額 2万円以内
- ・同上(自宅通学外) 月額 3万円以内
- ・各種技術、技能養成機関 月額 5万円以内

■貸付期間 奨学生の在学する正規の修学期間

- ◎受付期間 平成24年1月16日(月)
～平成24年2月3日(金)
- ◎書類提出期限 平成24年2月13日(月)
- ◎書類提出場所 風間浦村教育委員会
(電話35-2210)

■その他

奨学生の決定及び通知は、奨学金選考委員会の答申に基づき教育委員会が決定し、奨学生採用通知書をもって本人に通知いたします。

申し込み関係書類は、教育委員会(☎35-2210)事務局にありますのでご連絡下さい。

放送大学4月入学生募集 10月からBSデジタル放送開始

放送大学は、テレビなどの放送により授業を行う通信制の大学です。働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で、幅広い世代の方が学んでいます。

ただいま平成24年4月入学生を募集しています。

詳しい資料を無料で送付いたしますので、お気軽にお問い合わせください。

■募集学生の種類

教養学部

- 科目履修生(6ヶ月在学し、希望する科目を履修)
- 選科履修生(1年間在学し、希望する科目を履修)
- 全科履修生(4年以上在学し、卒業を目指す)

大学院

- 修士科目生(6ヶ月在学し、希望する科目を履修)
- 修士選科生(1年間在学し、希望する科目を履修)

■出願期間

平成23年11月15日～平成24年2月29日(必着)
※インターネット出願も11月15日より受付開始

■資料請求(無料)・お問い合わせ先

青森学習センター ☎0172-38-0500
八戸サテライトスペース ☎0178-70-1663
放送大学ホームページ
<http://www.ouj.ac.jp>

放送大学

検索

◆むつ科学技術館だより◆

本年もどうぞよろしくお願い致します

昨年は、県内外から多くの方々にご来館いただき、誠にありがとうございました。

本年も皆様に満足していただけるようなイベントをたくさん企画して参りますので、ぜひ、むつ科学技術館へお出で下さい。皆様のご来館を職員一同、心よりお待ちしております。

【1月コミュニケーションシアターのご案内】

コミュニケーションシアターでは、1月末まで以下のソフトを上映致します。

当館にお越しの際は、ぜひコミュニケーションシアターへも足を運んでみて下さい。

《上映ソフト》

- ①10:00～③15:00～ 五味太郎ビデオライブラリー『まどから★おくりもの』(25分)
- ②12:00～ 偉人たちの夢『ドミトリー・メンデレーエフ…元素周期律の発見』(30分)

【冬季イベントの案内】

2月12日(日)に冬季イベントを開催致します。当日は無料開放とし、映画上映やちびっこ工作教室(中学生以下対象、参加費100円予定)や、理科実験・観察など、楽しい企画をご用意しております。ぜひご家族やお友達と遊びに来て下さいね! 詳しいイベント内容につきましては、HPをご覧くださいか直接お問い合わせ下さい。

*掲載時の企画内容と異なる場合もございます。

《問い合わせ先》むつ科学技術館 ☎25-2091 Fax25-2092 《URL》<http://www.jmsfmml.or.jp/msm.htm>



民生委員・児童委員は あなたの相談相手です

この度、欠員となっておりました、易国間地区、蛇浦地区に、新たな委員が、任命されました。

12月2日、厚生労働大臣・青森県知事より交付の委嘱状が、飯田村長より伝達されました。

【民生委員協議会の組織】

- 会 長 蛸嶋 正男 (蛇浦地区担当)
- 副 会 長 横谷 康子 (易国間地区担当)
- 〃 木村 正 (下風呂地区担当)
- 委 員 佐藤 健介 (〃)
- 〃 高佐八重子 (〃)
- 〃 嘉賀 道代 (桑畑地区担当)
- 〃 林 喜美子 (易国間地区担当)
- 〃 古谷 聡子 (〃) **新任**
- 〃 山本 文子 (蛇浦地区担当) **新任**
- 主任児童委員 平嶋 栄子 (全地区担当)
- 熊谷 幸子 (〃)

※お近くの民生委員・児童委員にご相談ください。

※「主任児童委員」は児童に関する相談・支援をします。

民生委員・児童委員は、「広げよう 地域に根ざした 思いやり」をキャッチフレーズに、安全で安心な福祉のまちづくり支援しています。

県税の納税証明書の交付申請について

官公庁の入札参加資格審査申請、建設業許可申請、所得税確定申告、金融機関の融資申込み等のため、県税（法人県民税・事業税・地方法人特別税、個人事業税等）の納税額又は未納額がないことの証明書が必要な方は、次の書類等をご準備の上、県税部窓口へ交付申請してください。

- 1 本人申請の場合
 - (1) 申請書(県税部窓口へ備付。県のホームページからもダウンロードできます。)
 - (2) 納税義務者の印鑑(法人の場合は代表者印)
 - (3) 本人確認ができる書類(運転免許証等)
 - (4) 手数料 一通につき400円分の県証紙
- 2 代理人申請の場合

前記1(1)・(2)・(4)のほか、

 - (5) 委任状
 - (6) 納税義務者の印鑑証明書
 - (7) 代理人の印鑑
 - (8) 代理人の本人確認ができる書類(運転免許証等)

納税証明書は、納税者の皆様の大切な情報を証明するものですので、窓口での確認を厳格に行っております。ご理解をお願いします。

※郵送による交付申請もできますので、詳しくは県税部までお問い合わせください。

《お問い合わせ先》

下北地域県民局県税部 納税管理課
☎0175-22-8581 内線203

日本脳炎の予防接種について

小学生の日本脳炎予防接種が不十分になっています。
母子健康手帳を確認のうえ、不足分の接種を受けてください。

日本脳炎予防接種は国の方針により平成17年度から日本脳炎の予防接種の案内を行いませんでした(いわゆる「積極的勧奨の差し控え」)。その後新たなワクチンが開発され、現在は日本脳炎の予防接種を通常通り受けられるようになっています。

村では、今年度、平成17～22年度に日本脳炎第1期の予防接種を受ける機会を逃しているお子さんを対象に風間浦診療所のみでの接種を再開することになりました。

今回の予防接種に関しては、集団接種とはせず個別に接種を受けていただきたいと思ひます。対象者には個別に通知いたします。

【日本脳炎予防接種にかかる注意事項】

- 【対象者】 風間浦村に住所のある小学生(1～6年生)
- 【接種場所】 風間浦診療所 風間浦村大字易国間字大川目11-2 ☎35-2001
- 【接種期間】 平成24年1月5日～3月30日
- 【接種費用】 無料で受けられます
- 【持参物】 母子健康手帳・予診票
- 【注意事項】 接種時は必ず保護者が同伴してください。また、ワクチン準備の関係上、接種希望日の前日までに診療所に電話連絡して下さい。

【日本脳炎予防接種の標準的な接種スケジュール】

1期接種(計3回)		2期接種(1回)※
初回	追加	9～10歳の時に1回(第1期接種の終了後、おおむね5年後)
3～4歳の時に2回接種(6～28日間隔)	1年間隔をおいて1回接種	

※厚生労働省はワクチンの供給量等を勘案し、未だ2期の積極的な勧奨の差し控えは解除していません。今年度村では4歳～小学生のI期初回とI期追加の接種を勧めています。

【日本脳炎予防接種状況別回数について】

1度も接種したことのない場合	1期初回2回を6～28日間隔で接種し、1年後に追加接種を1回する。
1期初回1回のみ接種	前回の接種間隔があいていても差し支えないので残りの回数(2回分を6～28日間隔)を接種する。
1期初回2回接種済	追加の1回分を接種する。
1期初回・追加接種済	2期の接種勧奨はしていない。接種希望の場合は担当まで問合せする。

■問合せ先：役場村民生活課 保健衛生グループ ☎35-3111

後期高齢者医療広域連合からのお知らせ

後期高齢者医療制度の運営に関する

「運営懇談会」委員の再募集を行っています。

- 職 務：後期高齢者医療制度の運営に関する意見・提案を行っていただきます。
- 任 期：委嘱の日から平成25年10月24日まで
- 応募資格：風間浦村に住所を有する後期高齢者医療被保険者で、平日昼間青森市での会議に出席できる方
- 募集人員：下北保健医療圏域区分（むつ市、大間町、東通村、風間浦村、佐井村）から被保険者1人
- 応募方法：応募用紙及び「後期高齢者医療制度に関する意見（400字程度）」を提出
- 応募期間：平成24年1月4日（水）～20日（金）
- 謝 礼 等：会議1回の出席につき謝礼5,000円及び交通費（公共交通機関利用実費相当額）
- 応募用紙等の配布、お問合わせ先
総合福祉センター「げんきかん」村民生活課窓口
☎0175-35-3111
青森県後期高齢者医療広域連合 総務課
☎ 017-721-3821
ホームページ<http://www.aomori-kouikirengou.jp/>

平成24年度指名競争入札参加資格審査申請の受付について

- 一部事務組合下北医療センター（指定管理施設を除く）が発注する工事の請負、測量・コンサルタント業務、物品の製造請負・買入れ・役務の提供等の指名競争入札に参加を希望する方は、申請してください。
- 受 付 期 間 平成24年1月10日～1月31日
※土・日曜日を除く
 - 提出関係書類 むつ総合病院ホームページから申請要項及び様式をダウンロードし、申請要項に基づき、それぞれの業種に応じて必要な書類を取り揃えて提出してください。
<http://www.hospital-mutsu.or.jp/shimei.html>
 - 資格の有効期限 平成24年度及び平成25年度の2年間
（平成24年4月1日から平成26年3月31日まで）
 - 提出方法 持参・郵送のいずれでもかまいません。
 - 問合せ先 〒035-8601
青森県むつ市小川町一丁目2番8号
一部事務組合下北医療センター むつ総合病院
管財課契約審査係 ☎0175-22-2111（内線3272）

平成24年度「国有林モニター」の募集

- 東北森林管理局は、国有林の管理・経営に皆さまの声を役立てていくため、モニターを募集しています。
- 募集人員：数十名程度
 - 募集期間：平成24年1月4日（水）～1月31日（火）まで 当日消印有効
 - 任 期：2年間（平成24年4月～平成26年3月）
 - 内 容：アンケートへの回答 現地見学会・国有林モニター会議への出席など
 - 問合せ先：応募資格、応募方法など、詳しくはお問い合わせください。東北森林管理局国有林モニター係
☎018-836-2274 <http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>

大間病院職員採用試験のお知らせ

■職種、採用予定人員及び採用予定年月日等

職 種	採用予定人員	採用予定年月日	受験資格
薬剤師	1名	随時採用	薬剤師免許がある方または平成24年4月30日までに免許を取得する見込みの方で、申込み時点で満40歳以内の方
作業療法士	2名	随時採用	作業療法士免許がある方または平成24年4月30日までに免許を取得する見込みの方で、申込み時点で満40歳以内の方

- 問合せ先 採用試験に関する詳細については、下記にお問い合わせください。
〒039-4601 下北郡大間町大字大間字大間平20-78
国保大間病院 総務係 ☎0175-37-2105

国保 大間病院 臨時・パート職員募集

下記のとおり大間病院では、臨時・パート職員を募集します。詳細についてはお問い合わせください。

■採用職種、募集人数、採用期間等

採用職種	看護師又は准看護師	助手(看護・薬剤・リハビリ)	事務職員	調理員	清掃作業員
募集人員	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
採用期間	臨時職員	平成24年4月1日～平成24年9月29日			
	パート職員	平成24年4月1日～6ヶ月間または1年間（職種による）			

- 問合せ先 〒039-4601 下北郡大間町大字大間字大間平20-78
国保大間病院 総務係 ☎0175-37-2105

除雪作業員も一生懸命がんばっています。除雪作業にご協力を！

“雪降り”の時期になりました。以下のことにご協力をお願いします。

道路に雪を捨てないでください。

- 除雪車で寄せた雪を道路に戻したり、各家庭の雪を道路に押し出したりしないでください。



路上駐車はやめましょう。

- 路上の駐停車は、作業の妨げになります。決められた場所以外での駐停車はやめましょう。また、故障などでやむをえず路上におくときは、目印に赤旗を立ててください。



作業中の除雪車には30m以内に近寄らないでください。

- 除雪車は重機械であり、前後10mくらいは死角となります。また、雪の中に混じっている碎石、ガラス等が飛び散る場合もありますので30m以内には近寄らないようお願いします。



通行規制にご協力ください。

- 除雪及び排雪作業を、迅速・安全に進めるために一時通行止めにする場合があります。ご理解とご協力をお願いします。



深夜作業にご理解ください。

- 除雪及び排雪作業は、交通渋滞をひきおこさないために、交通量の少なくなった、夜間・早朝に行われます。ご迷惑をおかけしますがご理解ください。



平成23年度の各地区除雪担当者は次のとおりです。

地区名	除 雪 担 当 者	地区名	除 雪 担 当 者
蛇 浦	五 十 洲 工 建	桑 畑	(有) 風 間 浦 清 掃
易 国 間	(有) 北 館 工 業	下 風 呂	(有) 北 館 工 業
	越 膳 タ イ ヤ 商 会		(有) 島 山 商 店
	(有) 風 間 浦 清 掃	歩 道 除 雪	(有)北館工業・越膳タイヤ商会

風間浦村 産業建設課

～ 1月18日は「118番の日」～

海の「もしも」は118番

海上保安庁は、海上における事件・事故の緊急通報用電話番号として、警察の110番や消防の119番のように覚えやすい局番なし3ケタ電話番号「118番」の運用を2005年5月1日から開始しています。

次のような場合に通報してください。

- 海難人身事故に遭遇した、または目撃した
- 油の排出等を発見した
- 不審船を発見した
- 密航・密輸事犯等の情報を得た など

以上の場合において、「いつ」、「どこで」、「なにがあった」などを簡潔に落ち着いて通報してください。

なお、加入電話、公衆電話、携帯電話、船舶電話などから利用できます。

社協だより

Vol.222

新年のごあいさつ

社会福祉協議会長 中津義悦

謹んで

新春のお慶びを

申し上げます



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新年を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

日頃より、社会福祉協議会の事業推進に際し、皆様の多大なるご理解、ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、昨年三月十一日に発生した「東日本大震災」は、震災と続く津波の被害により、東北地方の太平洋沿岸部を中心に、多くの尊い命と貴重な財産が失われるという、未曾有の大災害となりました。

これまでの復旧、復興が進められる中で、世界中から義援金が寄せられ、多くのボランティアや専門家が今なお、被災地を支え続けています。私たちは、互いに助け、支え合うことの大切さを改めて考えさせられました。

当社協も「たすけあいのまちづく

り」のために、関係各位のご協力のもと、心のこもった地域福祉、介護サービスの継続、発展に鋭意努力してまいりますので、一層のご支援をお願い申し上げます。
年頭にあたり、皆様にとりまして、健康で喜びに満ちた年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年の挨拶といたします。



可愛いですね～♪

デイサービスセンター 大忘年会開催

十二月三日(土)総合福祉センター「げんきかん」において、デイサービス利用者様三十六名参加のもと、忘年会が開催されました。

飯田村長による乾杯の音頭で忘年会は早速本番を迎え、はじめに保育所児童による、ゆうぎが披露されま



風中・吹奏楽部のみなさん



「よさこい」かっこいいね！！

した。

参加者は、食事や会話を楽しみながら、子供たちの元気でかわいらしい姿に目を細めていました。

また、風間浦中学校ボランティアも吹奏楽や歌に踊りにと大活躍したほか、配膳や介助、後片付けなど、職員以上の仕事をこなしてくれました。

ご協力誠に有難うございました。



風間浦音頭は大渋滞！！



楽しそうですね。

健康だより

総合健診のお知らせ

年も明け、冬の総合健診の時期がやってきました。今年は特定健診が始まり4年目となり、メタボリックシンドロームという言葉も普及し始めてきています。健診は毎年受診し、自分の体を定期的にチェックすることにより、健康への第一歩となります。ぜひこの機会に受診してください！！

<健診の日時について>

日 程：平成24年1月17日(火)

受付時間：午前 8:00～11:00

場 所：総合福祉センター げんきかん

※注意事項

- ・当日の申し込みは受け付けません。受診するかどうかお悩みの方は前もってお申し込みいただくことをお勧めします。(申し込みメ切等、詳細は毎戸配布チラシをご確認ください)
- ・特定健診については国民健康保険の加入者が対象ですが、村の健診では社会保険の家族の方も受診できます。社会保険の本人の方で受診したい方は、村民生活課までご連絡ください
- ・国保加入者の方は前もって送られている「受診券」をご持参ください。

今年度も
無料です！



メタボリックシンドロームとは？

内臓脂肪が蓄積することにより、血圧が高くなったり、血糖が高くなるといわれています。この状態が長くなると血管に大きな負担をかけ、脳卒中や心筋梗塞などのリスクが高くなります。この状態をメタボリックシンドロームと言います。

特定健診ではメタボリック症候群の該当者または予備軍となる方を早期発見し、生活習慣を見直すことを目的としています。生活習慣を改善することで、医療費の抑制にもつながります。

がん検診について

受ける検診により対象に年齢制限等がありますが、特定健診と異なり加入している保険に関わらず受診することができます。

各種がん検診の内容

【胃がん・大腸がん・肺がん・前立腺がん】

※骨密度検診も行います。

→ お問い合わせは役場村民生活課まで Tel 35-3111

風間浦保育所 はっぴょうかい



12月10日、風間浦保育所で発表会が行われました。
当日は、歌に踊りにと子どもたちはちっちゃな体全体で表現し、詰めかけた親御さんから拍手やお花をたくさんもらいました。



戸籍の窓

(11月届出分)

●お誕生おめでとう

林 大 聖 くん (拓弥) 易国間

●お悔やみ申し上げます

川 嶋 美代治 さん (99歳) 易国間

私たちの村の人口

(11月末現在)

男	1,198人	(先月比-1人)
女	1,196人	(// -2人)
計	2,394人	(// -3人)
世帯数	1,033世帯	(// -2世帯)